

プロジェクト報告書

団体名 NPO 法人 CAPS

▼報告書の扱い、および記入にあたっての注意点

この報告書(精算報告書以外)は、ホームページなどで公開する予定ですので、広く読まれることを想定してご記入ください。また、編集段階で、表記・表現等を事務局で編集する場合がありますので、あらかじめご了承ください。語尾の表現は「です・ます」調をお願いします。報告書に掲載するため活動の内容がよくわかる写真(2枚程度。写真の肖像権問題がないものの提出をお願い致します)を添付して下さい。

1. プロジェクト名

農作業5カ年計画 Step1 働く環境の整備

2. プロジェクトの目的とその背景 300文字まで

障害のある人や高齢者の働き場が少ないため、農業に働く場を作る事を考えています。農業者の高齢化に伴い休耕地が増えているので、休耕地の借用により環境も保たれていくと考えます。

3. プロジェクトの内容 300文字まで

農地の性質や気候等の条件により農作物の収穫が変わってきます。この条件等を把握し生産していますが、障害のある人や高齢の人が中心に作業を行うため耕作のための負荷が大きいため、農業機械を導入して負担の軽減をしています。しかし、イノシシ等の被害がありせっかく作った作物も食い荒らされてしまうため電柵を使い進入を阻み目的の作物生産が出来るようにします。

4. プロジェクト実施にあたっての工夫点とその効果 300文字まで

100Vの電源がないためソーラーパネルを使い夜間はバッテリーに蓄えた電源を使い利用できるようにしました。また、耕作面積が減りますが雑草の影響がないように余裕を持った設置と雑草が大きくならないよう対処しました。昼夜を問わず獣の侵入を防げるため、実施後は作物を食い荒らされることがなくなりました。

5. 全体的所感、終了しての感想など 300文字まで

農作物の生産時に、鳥獣の被害がどうしても避けて通れません。昨年は、イノシシによるサツマイモの被害や鹿による豆類の新芽を食べられる被害により収穫が出来ませんでした。今回電柵使用によりサツマイモの被害が出ませんでした。労力をかけて作った作物が思い通りの収穫が望めないことは作業者にショックが大きいものです。作業労力を減らすと同じように鳥獣(イノシシ・鹿・ニホンカモシカ・ネズミ・ハクビシン・猫・熊・猿・鳥・鳩等)からの被害をなくす工夫が必要です。

6. 参考資料

支援対象プロジェクトで作成したチラシ、パンフレットやマスコミで紹介された記事等は現物またはコピー、活動風景の写真を参考資料として提供してください。

参考資料あり ・ 特になし



電気柵セット ソーラー番兵B40-S P 200mセット と バッテリー



ソーラー電気柵を畑に設置した状況です。